

『僕が一番欲しかったもの』（9月14日）を振り返って・・・

僕はさっき「とても素敵なもの」を拾った。でも、僕以上にそれを必要としている人に、惜しかったけれどあげることにした。そんなことを繰り返した僕だけれど、ここまで来た道を振り返ってみたら、「今までで一番素敵なもの」を手に入れることができていた。僕が最初に拾った「とても素敵なもの」とは。そして最後に拾うことができた「今までで一番素敵なもの」とは。

誰かを笑顔にするために自分ができること。日常のなかで、人との関わり合いのなかで、思いやりの心を大切に、周りに笑顔の花を咲かせよう。そしてその笑顔が「僕が一番欲しかったもの」と言える人でありたいですね。
＜みんなの感想より＞

●人の笑顔を見るのはすごく好きだが、誰かを笑顔にしてあげることはできていない。だから自分で人を笑顔に、そして人や生き物を助けられるような人になりたい。自分に誇りを持てるようになりたい。（女子）

●みんなを笑顔にできるのが感動で、助け合いが幸せを生むのだと思いました。（男子）

●私は人を笑顔にする方法を知っています。それは「自分が笑顔でいること」です。自分が笑顔でいたら周りの人も笑顔になる。私は最近そのことを忘れていたと思います。でも自分が笑顔でいたら周り笑顔になるなら、それでいいと私は思います。少しでも楽しいことがあったら心から笑いたいです。（女子）

●僕はこれまで助けようという気持ちもなかったし人に迷惑をかけていたこともありました。でも震災などで多くの人が亡くなったことを知って、「困っている人の助けになるようなことをしたい」、「一人一人が助け合い、絆を深める」、「この世の人々に迷惑をかけない」、自分でやろうと決めたことは絶対にやると決めたので、そのためにこれから努力していきたいです。（男子）

●東北では助け合っていて、助けた人も助けられた人も気分が良くなり、その時は「助ける」というのが欲しかった人がいた。それが一番欲しいものだと思っただ。（男子）

●普段ほしいものは？と聞かれたら「CD!」とか「お金」とかそういうものをほしいということが多い。でも歌を聞いたり、話を読んだりして、物だけでなく、人の気持ちや表情などもほしい物の一つだと思いました。みんなそう思っている人も多いと思うので自分も笑顔で頑張りたいです。（女子）

●自分が拾ったものをほかの人が必要としている。でも最後には自分も必ず一番いいものが拾える。それは誰かのためのもなのか、それとも自分のためなのか、それは人によって感じ方も違うからわからない。でももし私が一番欲しかったものを拾えたとしたら、誰かに役立つそんなものがないと思っただ。（女子）

●僕はいろんな人に、託して、託されて、多くの「心」をもらいました。過去があって、未来があって、今があるのかもしれません。僕が本当に欲しかったのは、「産まれてきて良かったのか」という生きる意味かもしれません。僕は多くの人にあった一秒一秒が「生きる」であり、その人たちがいたからたくさんの見方や心が持てるようになりました。太陽のように自らが光を放ち、そして周りの星を輝かせられるような、まぶしくあたたかい存在になれたらいいなと思います。（男子）